

What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

INDEX

今号の主な内容

- ISIT 祭り in SRP P1
- 展示会等への出展(マテリアルズ・オープン・ラボ、産学官共創推進室) .. P2
- CERI 寄付講座で山田研究所長が講演 P2
- ISIT/FiaS 視察研修・顕微鏡出張体験 P3
- 日本工学会アカデミー九州支部講演会の開催 P3
- エンジニアフレンドリーシティ福岡(EFC)アワード 表彰イベントを開催 .. P4
- One Kyushu DX コミュニティの取組み紹介 P5
- 経済産業省 中小企業知的財産支援事業 「データ戦略推進イニシアティブ」の実施 .. P5
- BODIK ODCS に福岡市が参加 P5
- 西新駅中央駐輪場の混雑状況をリアルタイムで判定する実証実験を実施 P6
- 福岡市職員様向けオープンデータ研修を実施 P6
- CEATEC 2024 へ出展 P6
- 九州大学-ISIT-福岡市連携 グリーントランスフォーメーション (GX) シンポジウム～地域の未来への展望～ P7
- 九州大学で学ぶ 水素エネルギー「子どもサイエンス教室」 P7
- よろず相談分析 NEXT のご紹介と料金改定のご案内 P8
- 組織変更のお知らせ P8
- 賛助会員のご紹介 P8

ISIT 祭り in SRP ～半導体産業で広がるDX・GX～

令和6年11月

公益財団法人九州先端科学技術研究所(ISIT)が令和7年度に設立30周年を迎えることから、そのイベントとして11月15日に福岡SRPセンタービルにて「ISIT祭り in SRP」を開催いたしました。

昨年までは、DXに特化したイベントとして開催していましたが、今回は、本研究所の専門分野であるIT・ナノテクノロジー両分野に深く関わり、いま九州で多くの関心が寄せられる「半導体」をメインテーマとして、本研究所全体で企画・実施しました。



基調講演

国立情報学研究所副所長
九州大学名誉教授 安浦 寛人 氏



基調講演

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
副社長兼デバイス開発センター長 松野 知之 氏



特別講演

CMSC, Inc., Chairman
陳 仲義 氏

メイン会場では講演や機関紹介等が行われ、並行して別会場にて「生成AI」「再生可能エネルギー」「GX・モノづくり」「DX・XR」をテーマとするセミナー・ワークショップを開催しました。

また、展示会場では、38の機関(企業や研究機関など)が出展し、製品や紹介ポスターを展示したブースは熱気にあふれた交流の場となりました。当日は、雨模様であったにもかかわらず350名余の方々にご参加いただきました。

令和7年度は、本研究所は30周年を迎えます。今後も職員一丸となって福岡、九州の産業振興の一助となるよう活動してまいります。



セミナー会場



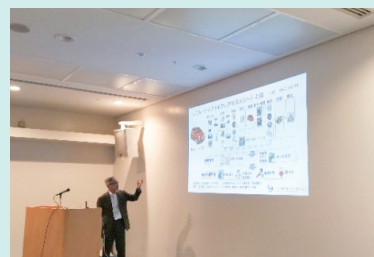
展示会場

展示会等への出展 (マテリアルズ・オープン・ラボ、産学官共創推進室)

令和6年度

令和6年度も多くの展示会でISITの活動を紹介しました。

マリンメッセ福岡で開催されたモノづくりフェア2024（10月16～18日）では、ブース出展によるPRとセミナーを主催しました。セミナーは「モノづくりでの分析・解析お任せ下さい!～よろず相談・最新共用機器・LCAの紹介～」と題し、よろず相談分析NEXTの活動紹介にはじまり、福岡市産学連携交流センター（FiaS）の分析機器室に新たに導入されたnanoIRの紹介をブルカー・ジャパン(株)の横川 雅俊氏、モノづくりにおけるライフサイクルアセスメント（LCA）の紹介を河津 博文 特別研究員が行いました。



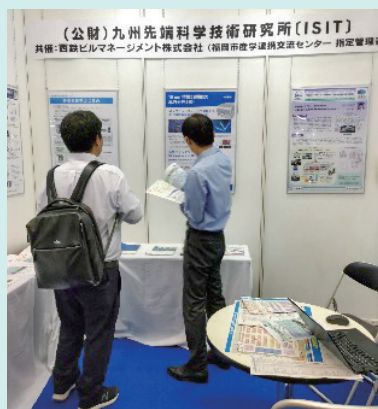
モノづくりフェア2024
セミナー会場

九州大学伊都キャンパスにて開催された九州大学オープンイノベーションワークショップ（10月16日）では、パネル展示を行いました。ワークショップへの参加企業のみならず、九州大学の先生方にもISITの活動をより知っていただく機会となりました。

東京ビッグサイトで開催されたnano tech 2025（1月29～31日）では、九州大学学術研究都市ブースの一員としてパネル展示を行いました。nano tech 2025ではISITの紹介、ナノ材料グループ、有機光デバイスグループの研究成果紹介、よろず相談分析NEXTやFiaSの分析機器室の紹介を行い、各パネルに多くの参加者が興味を持って来訪していただきました。

他にも光化学討論会（9月3～5日、九州大学伊都キャンパス）や九州大学学術研究都市フォーラム（1月28日、電気ビル共創館）においてもパネルを展示し活動紹介を行いました。

今後も様々なイベント、展示会にてISITの活動を紹介していきます。



モノづくりフェア2024
ブース出展



九州大学オープンイノベーション
ワークショップ パネル展示



nano tech 2025
パネル展示

CERI寄付講座で山田研究所長が講演

令和6年12月

一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI）と九州大学大学院工学研究院 応用化学部門が主催する公開講座（寄付講座）の令和6年度後期講座が「先端材料科学 ～設計、構造・物性から機能化まで～」をテーマに福岡市産学連携交流センター（FiaS）交流ホールで開催されました。

後期講座の最終日である12月7日に山田 淳 研究所長が「プラズモンナノ材料」について講演を行いました。

ISITマテリアルズ・オープン・ラボ（MOL）で研究開発を行うナノ材料について広く知っていただくよい機会となりました。



講演を行う山田 淳 研究所長

ISIT マテリアルズ・オープン・ラボ (MOL) および産学官共創部門が活動拠点としている福岡市産学連携交流センター (FiaS) には、多数の機器を活用できる分析機器室があり、その分析機器室の管理・運営を今年度からISITが行っております。

12月に、高校生の視察研修受け入れや、分析機器の出張体験会を実施しました。



高校生の視察研修の様子

■高校生のISIT/FiaS視察研修

12月19日、鹿児島中央高等学校から高校生19名・引率の先生2名が来訪され、MOL ナノ材料グループおよび有機光デバイスグループのラボ見学・体験と、FiaS 分析機器室の最新の分析機器体験等を実施しました。同校の進路指導の一環における「先端科学や研究の重要性等を学ぶ機会」として、熱心に取り組んでいました。

■顕微鏡出張体験会 (サイエンスカフェ@九大新町出張版)

12月21日、eスポーツなどを通じて学び・遊びを提供する「Christmas Festa in もち浜」が福岡SRPセンタービルで開催されました。

ISITは「最新の顕微鏡でミクロの世界をみてみよう!」と題して、FiaS 分析機器室の最新のデジタルマイクロスコプなどの顕微鏡を出張展示し、体験会を実施しました。当日は親子約40名にご参加いただき、昆虫や鉱石標本などを自由に観察し、驚きの声をあげていました。



顕微鏡出張体験会

日本工学アカデミー九州支部講演会の開催

山田 淳 研究所長が支部長を務める公益社団法人日本工学アカデミー (EAJ) 九州支部主催の講演会が10月30日に九州大学筑紫キャンパス 筑紫ホールで開催されました。

本講演会では、以下の演題で、2名の講師よりご講演いただきました。当日は、40名強の方にご参加いただき、近年関心を集める「生成AI」や「地震」について理解を深める貴重な機会となりました。

- ◆講演1 生成AIを教員はどう使うべきか ―高等教育と初等中等教育での事例と考察―
辰己 丈夫 氏 (放送大学教授)
- ◆講演2 大規模地球変動と日本・九州の地震
小山内 康人 氏 (九州大学名誉教授・放送大学福岡学習センター客員教授)



講演会場



閉会挨拶を行う山田 淳 研究所長

エンジニアフレンドリーシティ福岡(EFC)アワード 表彰イベントを開催

令和6年12月

「エンジニアが集まる、活躍する、成長する街」をコンセプトに、エンジニアが福岡市で働きたいと思うような街づくりを目指して、福岡市と共同でスタートしたエンジニアフレンドリーシティ福岡(EFC)。

EFCの活動の推進と、エンジニアを取り巻く環境の向上を目的としたEFCアワードの2024年受賞者が決定し、表彰イベントEFC AWARD 2024を、12月19日にエンジニアカフェにて開催しました。

今回で6回目となるEFCアワードでは、エンジニアコミュニティ文化の発展に貢献する「コミュニティ部門」から3団体、エンジニアが働きやすい環境づくりや成長・交流促進に取り組む「企業部門」から2社、ハッカソン・コンテスト Engineer Driven Day(EDD)で優れたプロダクトを開発した「プロダクト開発部門」から5チームが受賞しました。

また、EDD協賛企業が独自の視点で選定した3チームがEDD企業賞を、2チームがEDD特別賞を受賞しました。

表彰イベント当日は、表彰式のほか、受賞者によるプレゼン(LT)、交流会などが行われ、コミュニティ、企業、学生など、登壇者から一般参加者まで、幅広い世代の多様な方々が交流を深めました。



主催者代表挨拶を行う高島市長



表彰イベント
レポート



EFCアワード受賞者



EFCアワード
受賞者

〈プロダクト開発部門〉受賞した5チームのプロダクト紹介

株式会社ゲンティ



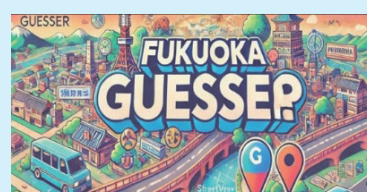
AIで製造業の業務改善提案書を作成するアプリ「KaizenEX」

こたつねこ



ARの積み木で遊べるアプリ「ばーちやるぼくす」

チーム市役所 (※現状1名※)



Googleストリートビューで示された福岡市内の場所を探すゲーム「ふくおかげっさー」

じょぎ



ダンスの正確さを競うゲーム「ジャストエイサー」

福岡マラソンを走る人と応援する人



福岡マラソンのランナーに応援メッセージを送るアプリ「応援ロケット」



EDD2024
応募プロダクト一覧

One Kyushu DX コミュニティの取り組み紹介

令和6年度

経済産業省の令和4年度地域新成長産業創出促進事業の補助事業として採択された全国27プロジェクトの1つとしてスタートしたOne Kyushu DX。「地域企業同士でDXを支援し合うエコシステム形成を目指す」ことを目標に、交流会や勉強会などのイベント開催や、オンラインコミュニティ（Slack）でDX推進に取組む会員同士の交流を行っています。

■DX認定取得にむけて、ワークショップを通じたサポートの実施

長年IT業界でコンサルタントを務めている専門家を講師に迎え、講師の強力なサポートのもと、DXの全体像や自社が目指すVisionを決定し、DX戦略の策定を行いました。最後に、参加者にDX戦略を発表していただきました。

■各県のDX推進者が本音で語り合う「九州DX未来会議」の実施

福岡、佐賀、大分の3県からDX推進者をゲストに迎え、それぞれの取組みや情熱について語っていただきました。福岡県からは㈱オートシステムの熊本耕作氏、佐賀県からはヤマトカンキョウ㈱の西嶋淳郎氏、旅館あけぼのの音成亜美氏、大分県からは㈱トライテックの岡本綾乃氏、なかつ情報通信開発センター㈱の塩田伸一氏が登壇しました。当日は、福岡会場に18名、大分会場に10名、オンラインで46名、計74名が参加しました。交流会終了後は、福岡会場で懇親会を実施し、DX推進者同士の交流が深まりました。



経済産業省 中小企業知的財産支援事業「データ戦略推進イニシアティブ」の実施

令和6年度

経済産業省の令和6年度「中小企業知的財産支援事業」の補助事業として、ISITが幹事企業となりデータ戦略推進イニシアティブを令和6年7月から令和7年2月まで実施しました。

この事業における目的は以下の通りです。

- 地域中小企業の知財戦略を伴ったデータ活用推進
- 知財戦略を伴ったデータ活用に対応できる支援機関の育成
- 既存コミュニティ内に、知財戦略を伴ったデータ活用を普及する地域中小企業及び支援機関のサブコミュニティ形成



研修の様子

これらの目的を達成するために、研修プログラムとして、地域中小企業向けに日本弁理士会九州会の協力を得て実施した知財研修や理解・企画・実践の3STEPでデータ活用するデータ活用研修、支援機関向けには実践企業を伴走するノウハウの研修を行い、研修終了後にはその結果を活かした伴走支援を行っていただきました。

2月19日に最終報告会を実施し、6社9チームにその成果を発表いただきました。今後は地域企業やその支援機関とのコミュニティを通じて、相互扶助による知財戦略データ活用への継続支援を実施していきます。

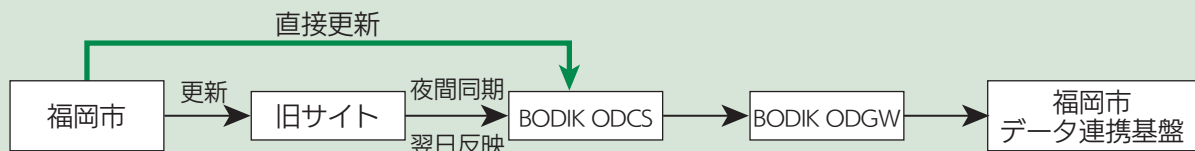
BODIK ODCSに福岡市が参加

令和6年度

これまで福岡市はオープンデータ公開の場として、福岡県、福岡市、北九州市、粕屋町の4自治体合同のオープンデータ公開サイト（ここでは「旧サイト」と呼びます）を利用していました。

このたび、オープンデータサイトをBODIK ODCSに移行し、令和7年1月から運用を開始しました。この旧サイトからBODIK ODCSへのデータ移行をISITが担当しました。

福岡市がBODIK ODCSに参加したことで、BODIK ODCSに公開された福岡市のオープンデータが、BODIK ODGWを経由して、スムーズに福岡市データ連携基盤へ登録されるようになりました。



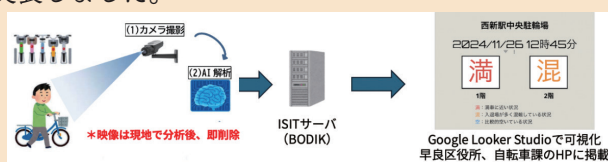
西新駅中央駐輪場の混雑状況を リアルタイムで判定する実証実験を実施

令和6年度

早良区西新駅周辺には、福岡市の駐輪場が6カ所ありますが、それぞれ利用率が異なり、利用者が集中する混雑時には、現場スタッフが利用者に別の駐輪場の利用を案内せざるを得ない状況となっています。

そこで、福岡市の公民連携事業「mirai@」の一環として、利用率の高い西新駅中央駐輪場において、画像認識AIの技術を活用し、駐輪場の混雑状況をリアルタイムに判定する仕組みを実装し、正確性などを検証しました。具体的には、AIカメラで検知した『人と自転車の入退場情報』をもとに駐輪場の満空状況を推測し、その情報をホームページに公開する処理を、ISITが運営する自治体オープンデータプラットフォーム「BODIK」のシステム内に実装しました。

現場スタッフへのヒアリングおよび入退場情報の適切な累計値設定により、現実 に即した満空状況の識別が可能であること、既存の防犯カメラを活用することで、導入費用を抑制できることなどを確認することができました。



福岡市職員様向けオープンデータ研修を実施

令和6年11月

BODIK（ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州）では、オープンデータカタログサイトのBODIK ODCSをはじめ、自治体がオープンデータを公開するための様々な支援を行っています。自治体職員様向け研修も数多く実施しており、11月27日に福岡市各課のオープンデータご担当者様を対象とした研修を行いました。

研修では、オープンデータ作成時の注意点や活用事例について学んだあと、実際のデータを用いて各自オープンデータを作成し、テストサイトに公開するまでの一連の作業をワークショップ形式で実施しました。

また、研修後半ではノーコードアプリ作成ツール「Glide」を使用し、公開したデータを用いてアプリ作成まで行うハンズオンも体験いただきました。オープンデータを提供する側の自治体職員のみならず自身がアプリを作成することで、データ利活用のイメージをより具体的に体感できる研修となりました。



研修の様子

CEATEC 2024 へ出展

令和6年10月

昨年度に続き、10月15～18日の4日間IPA（独立行政法人情報処理推進機構）が出展事務局となるCEATEC 2024に「九州全体で「DX - Ready」を目指す相互扶助コミュニティを紹介」をテーマに出展しました。

IPAの地域DX推進ラボの1つである福岡市DX推進ラボとして、事業内容の周知や地域のDX推進の活性化等を図ることを目的にブースの出展やプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションでは、ISITのDXコミュニティにおいてDXを積極的に推進している(株)オートシステムやJfp(株)にご登壇いただき、DXの挑戦事例を紹介いただきました。

展示ブースへの135名の来場者やプレゼン視聴者からは、相互扶助コミュニティなどに関する積極的な質問をいただきました。また今回の出展では、国内の他のラボとの交流も行い、取組み事例等の情報収集を行いました。



(株)オートシステム



Jfp(株)

九州大学－ISIT－福岡市連携 グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム ～地域の未来への展望～

令和7年1月

「九州大学－ISIT－福岡市連携 グリーントランスフォーメーション (GX) シンポジウム～地域の未来への展望～」を1月29日に開催し、96名が参加しました。このシンポジウムは、毎年1月末に開催される九州大学エネルギーウィークの1プログラムとして開催しているもので、今回が3回目となります。

第1部の基調講演では、新たなクリーンエネルギーとして注目されている水素エネルギーが地域の未来にいかに関与していくのかについて、水素エネルギーの地産地消や商業利用をテーマに、九州大学工学研究院立川雄也准教授とトヨタ自動車(株)CJP企画部石川大悟グループマネージャーにお話しいただきました。参加者からは、「世界・日本の最新状況だけでなく、九州地域の現状説明もあり良かった」「講演者のモチベーションと熱意が伝わってきた」という意見のほか、「取組みの進捗を知る上でも継続して開催してほしい」という声も寄せられました。

第2部の「福岡市内企業の脱炭素ビジネスへの取組み紹介」では、九州大学水素エネルギー国際研究センター西原正通教授、九州大学大学院 芸術工学研究院早瀬百合子准教授、JICA九州後藤伸也企業連携課長をファシリテーターに、脱炭素ビジネスに資する商品等の開発に対する支援事業（福岡グリーンイノベーションチャレンジ事業）にチャレンジしている市内中小企業の取組みを紹介しました。発表企業はCO₂回収技術、コンポスト、木造コンテナハウス、遠隔温度監視システム、道路舗装材と多岐に渡り、参加者からは「短時間で様々な企業の技術を知り勉強になった」「スタートアップやNPO発企業が頑張っている様子を知り勇気をもらった」といった感想が寄せられました。

（発表企業：(株)JCCL・(株)協栄エレクトロニクス・日本乾溜工業(株)・(株)ユレタリング・ローカルフードリサイクリング(株)）



基調講演の様子



取組み紹介の様子

九州大学で学ぶ 水素エネルギー 「子どもサイエンス教室」

令和6年10月

10月20日に開催された「子どもサイエンス教室」では、小学生と保護者、計58名が参加し、水素が私たちの生活にどう関わるのかを実験や施設見学で学びました。本イベントは、ISIT、九州大学、福岡市の共催で昨年に続き2回目の開催となります。

まず訪れたのは、九州大学伊都キャンパス内の「次世代燃料電池産学連携研究センター」。ここでは、水素エネルギーの基礎を学ぶミニ講義と体験実験が行われました。講義では、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を抑えるための水素エネルギーの役割や、水の電気分解を利用した水素の製造方法について説明。子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。実験では、家庭にあるペットボトルと乾電池を使って水の電気分解を行い、水素の泡を発生させる体験。その水素を使って燃料電池を発電させ、オルゴールを鳴らしました。大学院生の助けを借りて、子どもたちは初めての水素の実験に挑戦。目と耳で感じる水素エネルギーに、喜びの声をあげていました。

次に、参加者たちは「水素エネルギー国際研究センター」へ移動。ここでは、水素ステーションの見学や燃料電池自動車（FCV）の仕組みについて学びました。水素充填の模擬体験をし、水素タンクを持つ燃料電池自動車の構造に触れました。水素社会ショールームでは、家庭などの実社会でも使われている燃料電池発電システムも見学しました。また、水素で動くごみ収集車を見学し、模擬ごみの投入体験をしながら収集の仕組みを学びました。騒音の少なさに参加者からは驚きの声が上がりました。

イベント後のアンケートでは、「いつもはできない体験ができてワクワクした」「水素で動く車の進化が面白い」「親子で学べる貴重な機会だった」「大人も知らないことが多く勉強になった」といった声が寄せられ、未来のエネルギー「水素」が私たちの暮らしをどのように変えていくのかを体感するイベントとなりました。



ミニ講義 講師 立川雄也 准教授



大学院生による体験実験サポート



模擬ごみの投入体験

よろず相談分析NEXTのご紹介と料金改定のご案内

令和6年度

ISITでは、製品・材料等の分析・解析を通じた課題解決支援事業、よろず相談分析NEXTの相談窓口を開設しています。

令和7年1月から技術指導料を改定いたしました。ISITの賛助会員様や福岡市内の中小企業への優遇措置も導入しておりますので、詳細は二次元バーコードより分析NEXTのHPをご覧ください。

問い合わせ先 Eメール：bunseki@next-soudan.com 電話：092-805-3810

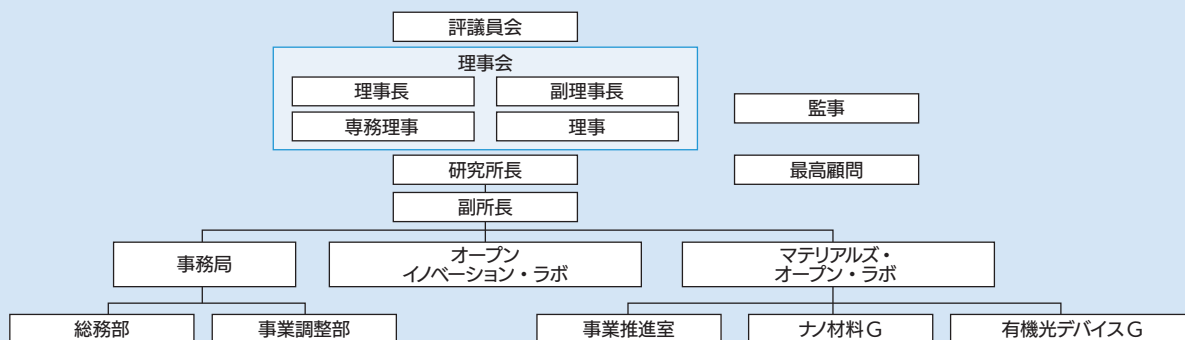


よろず相談
コンサルティング料
改定のお知らせ

ISIT 組織変更のお知らせ

令和7年度

令和7年4月1日よりISITの組織が変更になります。マテリアルズ・オープン・ラボに産学官共創推進部門を統合し、オープンイノベーション・ラボとの2ラボ体制になります。



賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITの技術コンサルティング料金を割引

会員特典

2

コミュニティスペースや会議室で
設備・備品が利用可能

会員特典

3

ISITホームページで紹介（リンク等）

会員特典

4

活動報告書、活動レポートの送付 等

詳細はこちらまで！ ISIT総務部

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。
メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

<https://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

新規賛助会員
のご紹介

■株式会社GCEインスティテュート様

身の回りに溢れる未利用熱を次世代のエネルギー源へ。革新的な熱電変換技術を社会に実装します。

発行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22

〈福岡SRPセンタービル5階〉

Fukuoka SRP Center Bldg 5F

2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

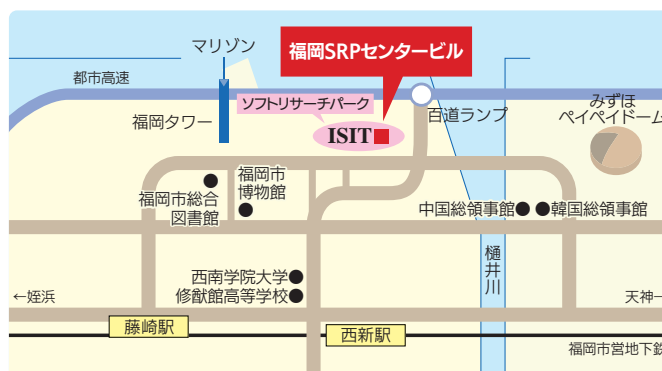
TEL 092-852-3450

FAX 092-852-3455

URL: <https://www.isit.or.jp>

編集：ISIT事業調整部

制作：株式会社西日本高速印刷



賛助会員入会のご案内

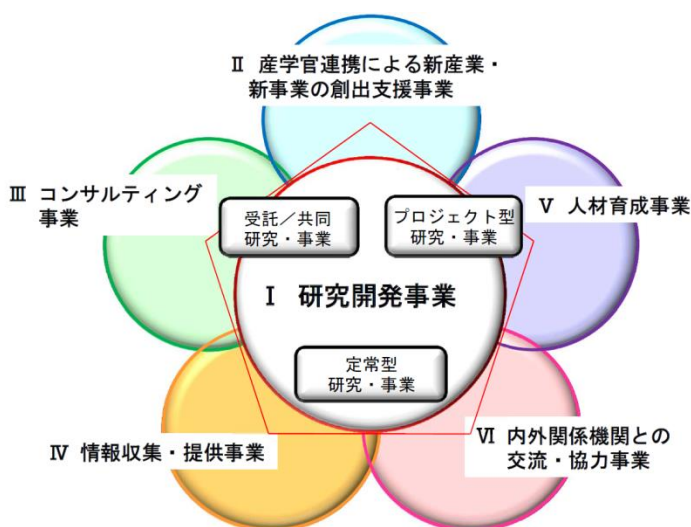
当財団の事業目的に賛同して頂ける方
(企業/団体/個人等)の賛助会員入会を募集中

主な特典

1. ISIT主催のセミナー・交流会を優先的にご案内
2. コンサルティング(技術相談等)の初期相談が無料
3. ホームページで会員紹介(リンク等)
4. その他活動報告書や活動レポートの送付



当財団は、システム情報技術、ナノテクノロジーなどの先端科学技術分野において、九州地域における共創の場を提供し、社会実装や社会実証、産業界のニーズと大学等研究機関等のシーズをつなぐ開発研究を産学官連携の下で推進するなど、産業の振興と経済社会の発展に資する様々な活動・事業(公益目的事業)を行っています。



産学官連携プロジェクト (H30.4現在)

- 福岡市IoTコンソーシアム (FITCO)
- ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州 (BODIK事業)
- SRPオープンイノベーションラボ
- 分析・解析よろず相談事業 (分析NEXT)
- ふくおか産学共創コンソーシアム

など

詳細: <https://www.isit.or.jp/project/>



【入会申込・お問合せ窓口】

当研究所 総務部 Tel : 092-852-3450 Fax : 092-852-3455

E-mail : isit-soumu@isit.or.jp

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル5階

賛助会員入会申込書

公益財団法人九州先端科学技術研究所 宛

貴研究所の事業目的に賛同し、賛助会員として入会を申し込みます。

年 月 日

ふりがな			
団体名 又は氏名	※法人会員の場合は団体名、個人会員の場合は氏名を正式名称でご記入ください。当研究所のWEBに掲載させていただきます。		
代表者氏名	※個人会員の場合は記載不要		印
住 所	〒		
電話番号	※法人会員の場合は代表番号をご記入ください。	FAX番号	
入会理由 ※複数選択可	1. 研究開発内容に関心あり 2. 共同研究/共同提案等の実施等 3. コンサルティング(技術相談等)の活用 4. セミナー・交流会等の活用 5. 情報収集等 6. その他()		
申込口数	※番号に○をつけて、申込み口数をご記入ください。 1. 法人会員 口 2. 個人会員 口 (6万円/口) (1万円/口)		
メールアドレス	※各種セミナーや講習会などのご案内や賛助会員様への連絡等をお送りする宛先になりますので、必ずご記入ください。		
WebページURL	※当研究所のWEBでのリンク設定を希望されない場合は、□にチェックを入れてください □当研究所の賛助会員ページに上記URLをリンクすることに同意しません。		
※団体(法人会員)での申込みの際は以下もご記入ください。			
担当部署名			
担当者名		電話番号	
備 考			